



夢に向かって堂々と歩むけやきっ子を育てる ～けやきのA（エース）をめざせ～

【あかるくあいさつ・あきらめず挑戦・あったかことば】

新一年生95名、そして転入生を迎え、全校生762名で2022年度（令和4年度）けやき台小学校のスタートをきりました。

5月9日に児童会行事「1年生を迎える会」を感染症対策に十分配慮して実施します。コロナ禍の中でも、例年に近い状態でやりたいという子どもたちの想いを支援して、タブレットを使って各教室に動画配信する等工夫を凝らして行う予定です。花のアーチをくぐっての入場からスタートし、プレゼント渡しまで、温もりいっぱいの会にします。会を企画するにあたり、高学年を中心としたけやきっ子のあふれんばかりの情熱に感動しています。

今年度も行事や教育活動について『**できることは工夫して取り組み、やりきる**』ことを大切にしていきたいと思います。子どもたちの日々の学びを充実させるために努力を惜しまず、教職員一丸となり、「人とつながり、笑顔あふれる、心ぼかぼかな」『けやきのA（エース）をめざす』児童の育成に向け、「チームけやき（けやき台56）」として、お子様の成長を支援していくよう取り組んでいきます。保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校は平成4年4月1日に設立され、昨年度、創立30周年を迎えました。

平成十年度卒業生で、海外プロサッカー一選手の岡崎慎司さんは『夢に向かってあきらめず挑戦することについて次のように語っています。「ボールを追いかけるというのは、あらゆる物事にチャレンジすることと同じです。常にチャレンジし続けていれば必ずチャンスというボールが転がってきます。絶対にボールは自分の元に転がってくると信じて、失敗してもくじけず何度も挑んでいく気持ちこそが夢をあきらめない強い心をつくります」偉大な先輩の言葉をかみしめ、『I can do it！（自分ならできる）』とポジティブに毎日を過ごしてほしいと思っています。

毎日の学校生活においては、様々なドラマがあります。「2重飛びの記録がふえたよ」「見守りボランティアさんにいつもありがとうと言ったらほめられたよ」と自分の嬉しさを報告してくれる場面やもくもくそうじを一生懸命していたり、友だちにあったか言葉をかけていたりする場面に出会うことがあります。そんな時私は、笑顔で声高らかに「けやきのA（エース）！」と称賛しています。

子どもの道徳性や価値観、感動する気持ちは、小学校6年間に築かれていくと言われます。小学校の時こそ最も大切な時期なのです。親として「こんな子どもに育ててほしい」その願いが子どもに通じるよう、様々な場面で『心ぼかぼかな』働きかけをしていただきたいと思います。良いところは満面の笑みで感情的にほめ、叱るときは、じっくり目を見て理性的に言い聞かせましょう。親の思いが子どもに伝われば、「自分はいつも見守られている」という安心感が生まれ、心が温かくなります。そして大人になっても記憶に残っています。

いつの時代でもいくつになっても称賛や励ましは、嬉しいものです。子どもたちにとっては自信を深める、やる気がみなぎるかけがえのない出来事となります。そこから自尊感情が高まり、自分を好きになり、他人も好きになる気持ちをもつのです。そして、キラキラ輝く自分の一番星を発揮するのです。

今後もいろいろな場面で活躍する、けやきっ子の熱血応援団長になり「フレーフレー」と声を出し続けていきたいと思っています。

校長 福井 博行